

2024年6月16日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第12号(通算3394号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に**する**教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に**する**神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)



せいれいこうりんせつ  
**聖霊降臨節**

だい しゅじつれいはい  
**第5主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 47編 2,6節

賛美歌 21-390番「主は教会の基となり」(©日本キリスト教団出版局)

聖書 ミカ書 4章 1-7節

お祈り

賛美歌 21-371番「この子どもたちが」(©日本キリスト教団出版局)

メッセージ「幸せなら手をたたこう」 牛田 匡 牧師

賛美歌『子どもさんびか改訂版』34番「キリストのへいわ」(©塩田 泉)

主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

献げ物 (\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 47編 2,6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 2 すべての民よ、手を打ち鳴らせ。  
喜びの歌声で、神に<sup>かんこ</sup>歡呼の叫びを上げよ。
- 6 神は喜びの叫びの中を上られる。  
主が<sup>つのおえ</sup>角笛の音の中を上られる。

聖書 ミカ書 4章 1-7節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 終わりの日に／主の家の山は、山々の<sup>かしら</sup>頭として<sup>かた</sup>堅く立ち  
どの<sup>みね</sup>峰よりも高くそびえる。  
そして、もろもろの民が川の流れるように／そこに向かい
- 2 多くの国民が来て言う。  
「さあ、主の山、ヤコブの神の家に登ろう。  
主はその道を私たちに示してくださる。  
私たちはその道を歩もう」と。
- a 教えはシオンから (脚注 a：別訳「律法」)  
主の言葉はエルサレムから出るからだ。
- 3 主は多くの民の間を裁き  
遠く離れた強い国々のためにも判決を下される。  
彼らはその<sup>つるぎ</sup>剣を<sup>すき</sup>鋤に  
その<sup>やり</sup>槍を<sup>かま</sup>鎌に打ち直す。  
国は国に向かって剣を上げず  
もはや戦いを学ぶことはない。(注：以上イザヤ 2:2-4 と同じ)
- 4 人はそれぞれ自らのぶどうの木  
いちじくの木の下に座し  
脅かす者は誰もいないと  
万軍の主の口が語られる。
- 5 どの民もおのおの、自らの神の名によって歩む。  
私たちは私たちの神、主の名によって／とこしえに歩む。
- 6 その日には、私は足の<sup>な</sup>萎えた者を集め／追いやられた者  
私が災いに遭わせた者を呼び集める――主の<sup>おお</sup>仰せ。
- 7 私は足の萎えた者を残りの者とし  
遠くに連れ去られた者を一つの強い国民とする。  
主はシオンの山で、今より、とこしえに／彼らの王となられる。



## 《先週のメッセージより》6月9日 教会創立記念・花の日子どもの日礼拝

「信じる人になりたい」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 3章 36節

今月は私の母方の祖母が死んで20年。家の裏手の寺へ、祖母はいつも熱心にお参りをし、「仏教婦人会」の世話役もしていたという。祖母がいつも仏壇に向かって手を合わせる姿しか見ていなかった私は、活動的な祖母の姿を葬式で初めて聞かされ、大変驚いた。世の中には宗教に不信感を抱く人々、もともと宗教に興味を示さない人々、他の宗教を熱心に信仰する人々もおられるが、私の祖母も含め、みな永遠の命にあずかれないばかりか、神の怒りまで買うのだろうか。

キリストの教えの基本は、やはりマルコ福音書12章にあるような「最も重要な掟」についての言葉だろう。マタイ福音書7章においてもイエスは、「私に向かって『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。私の天の父の御心を行う者だけが入るのである」と言われる。一方で大乘仏教の教えは「私たちは煩惱を持ったまま幸せになれる。私たちはそのままみんな仏である」という教えだという。自分も隣人もみんな仏として敬い大事にし合う姿、自分がありのまま受け入れられることに救いと喜びを見出すだけではなく、そこからもっとお互いにかかわりあってゆく姿。キリストの言われることと重なる。本当に立派な方々は、結局同じような答に行きつかれるのだろう。私の祖母も、仏教婦人会において豊かな交わりを広げていたであろう。キリスト教のことは知らずとも、私が洗礼を受け、牧師になる時も、変わらず見守ってくれた。そんな祖母が、西方浄土にせよ天国にせよ、行けないわけではない。神は喜びこそすれ、怒って文句を付けるようなことはきつとなさらない。

「御子を信じる者」とは、神の独り子であるイエスを救い主と信じ、キリストが命を懸けて教えられたことに従おうとする者。「御子に従わない者」とは、宗教に距離をとる人々でも他宗教の徒でもなく、「神様、神様。主よ、主よ」と口ばかりで具体的に御心を行うことのできない人、別にそれでも「まあええか」と思ってしまう人。私たちの一面でもある。イエスを信じ、その教えに耳を傾け、転んだりつまずいたりしながらも、一生懸命キリストに従おう、ついて行こうとすることで、本当の意味での「信じる人」となっていきたい。そんな私たちの姿を見て、私たちの子どもたちも育てゆくのだ。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 6月9日 教会創立記念・花の日子どもの日礼拝  
 礼拝出席 大人6名 献金 大人6,000円 中継視聴者数7回 感謝

◎次週 2024年6月23日(日) 聖霊降臨節第6主日礼拝

招きの詞 詩編 126編5-6節

聖書 ヨハネによる福音書 4章27-42節

メッセージ 「種蒔きが先か、刈り入れが先か」牛田匡牧師

賛美歌

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。またそのための献品も、いつでも受け付けております。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・6月29日(土)に、和歌山県かつらぎ町にある大浦農園にて、ジャガイモの収穫のお手伝いをする「縁農」を行う予定です。どなたでもご参加ください。(右の2枚の写真は先日の6月8日の玉ねぎ収穫の様子です) 詳細は牛田牧師までお問い合わせください。
- ・6月23日(日)10時~16時にkokoka京都市国際交流会館にて、「開発教育入門セミナー ~SDGsを自分ごとに~」が開催されます。主催は日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会です。午前中には「となりのムスリム・ムスリマ」という講演があり、午後には「わたしたちのパレスチナ問題」という講演があります。参加費は1,000円です。申し込みの締め切りは6月20日(木)です。申し込みは右のチラシにありますウェブサイトフォーム、またはFAX、Eメールにて、お名前と連絡先をお知らせ下さい。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/23	牛田匡牧師	おにぎり支援
6/30	水谷憲牧師	誕生者祝福式(河内地区婦人会 14時~、八尾教会にて)
7/7	牛田匡牧師	教会を考える会
7/14	水谷憲牧師	(部落解放祈りの日)

開発教育入門セミナー

~SDGsを自分ごとに~

人権・平和・環境などの地球的課題を考えるワークショップ

日時:2024年6月23日(日)10:00~16:00

会場:kokoka 京都市国際交流会館 第1・2会議室

定員:40名(要申込) 参加費:1000円(教材の販売もあり)

【午前】「となりのムスリム・ムスリマ」

10:00~12:10

講師:橋田雪江、七宝可奈子(開発教育研究会)

ゲスト:ヤスミン タスリマさん(バングラデシュ出身)

ムスリムの日常の暮らしを知り、学校、地域でのムスリム理解のための取組などについて出し合い、多様な背景を持つ人々が共に暮らせる社会づくりについて考えましょう。

※イスラム教を信仰している人をアラビア語でムスリムと言います。

【午後】「わたしたちのパレスチナ問題」

13:10~15:30

講師:比嘉美智子、丸山まり子(開発教育研究会)

どうして解決しないの?パレスチナ問題は難しく分からない?現状や歴史をたどりながら、今遠くで起きているいのちの危機を、同じ世界で生きている私たちの問題としていっしょに考えましょう。

15:30~16:00 全体ふりかえり

【申込方法】ウェブサイトの申込フォーム、FAXまたはE-mailにて 受付期間 5/1(水)~6/20(木)

お名前、連絡先(電話、メールアドレス、所属)をお知らせください。

E-mail は件名を「開発教育入門セミナー参加希望」としてください。

【申込・問合せ先】関西セミナーハウス活動センター

TEL: 075-711-2117 FAX 075-701-5256 E-mail アドレス office@academy-kansai.org

右記のウェブサイト、QRコードからお申込みできます <https://www.academy-kansai.org>

※申込が多い場合は1日参加の方を優先します。キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。

※昼食は各自でご持参ください。

開発教育研究会とは...

日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス活動センターが主催している「開発教育セミナー」を企画、運営。1989年以来、年6回、1泊2日にて人権、平和、環境などの地球的課題一参加して学んできた。その成果を「新しい開発教育のすすめ方一至急市民を育てる現場から」「新しい開発教育のすすめ方」難民-未来を感じる総合学習(共に共今書院)、「身近なことから世界と私を考える授業I・II・III」(共に明石書店)として出版。

主催:(公財)日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス活動センター-開発教育研究会、(公財)京都市国際交流協会  
 協力:(独)国際協力機構 関西センター(JICA 関西)  
 後援:京都市教育委員会、京都府教育委員会、認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)(申請中)